



大手前丸亀中学校・高等学校同窓会
カエルの会(植物・昆虫愛好会)

開催報告

第2回おもいでハイク(和氣先生を偲ぶ会):大川山

◎日 時:平成29年7月8日(土)ー9日(日)

◎開催地:大滝大川県立自然公園(大川山)

◎参加者:(4回生)原田、横田、漆原、(5回生)埋忠、三原、臼杵、(6回生)香川、(7回生)長峰
<敬称略>(全8名)

今年の参加者は、昨年の参加者に埋忠さんを加えた全8名。母校のホームカミングデーの全行事終了後、①和氣先生の墓参をし、こんぴら温泉湯元八千代に移動して、②和氣先生を偲ぶ会、翌7月9日(日)には、③おもいでハイク:大川山を行った。

1. 和氣俊郎先生の墓参:

15:30、原田、横田、埋忠、三原、臼杵の5名が玉泉院



金林寺(善通寺市木徳町)にて、和氣先生の墓参をさせて頂いた。写真左は、金林寺前アプローチのコンクリート道路でみかけたツマグロヒョウモン(♂)。



2. 和氣先生を偲ぶ会(総会・懇親会):

17:00、参加全8名が、漆原さん経営の「こんぴら温泉湯元八千代」に集った。原田会長からご挨拶をいただいた後、①「ことひら桜の里帰り」(8本程度の苗木が育っている。後2ー3年経たないと結果は判らない=漆原さん)、②「生物部の活動資料の保管・公開」(母校では、図書室に各部活の記録資料の保管・公開を計画している=香川さん、臼杵)、③「ナガサキアゲハ」(香川さん宅で実生のグループフルーツに蝶が産卵、蛹化した。羽化した蝶を見たらナガサキアゲハだった=香川さん)、等が報告された。その他、会の活性化について意見交換、歓談した。最後に全員で記念撮影。意見、申し合わせ等の要点は以下の通り。



・今後、地元支部でも独自に活動を活発化させてほしい。

・新たに地元支部長を横田さんをお願いする。

・名倉さん(39回生)は、昔の生物部の活動をよくご存じである。是非、「和氣先生を偲ぶ」への投稿や、地元若手グループを含む形での活動にご参画いただけないか?

・次回第3回おもいでハイクは雲辺寺(又は梶が森)で、担当幹事は三原さん、等。

3. おもいでハイク:

登山口から2時間以上の歩きとなる県下第二の大川山(1042 m)も、今では、頂上直下まで車でいける。

7月9日(日)は、曇りのち雨。9:30、登山参加者の原田、埋忠、三原、香川、長峰、臼杵の6名がこんぴら温泉湯元八千代玄関に集合、漆原さん、長峰夫人に見送られて、「大川山おもいでハイク」に出かけた。



大川山は、我々生物部員にとって一番思い出深い山。出来るならば、白トレパンに自転車で美合村まで行き、そこから2時間以上をかけて正規の登山道を山頂神社まで登りたい位であるが、



寄る年波には勝てず、また、時間的余裕もない。そこで、タクシーチャーター、三原さんガイドによる大川登山となった。10時半、頂上直下1kmの三叉路到着。ここでタクシーを降り、タクシーはドライブコースで頂上へ、我々は、登山道の最後の1kmのみ敢えて歩いて登山した。ここ大川山は最後の登りが色々な意味で思い出多く、また、和気先生から色々なことを教えていただいたところでもある。11

時30分過ぎ、頂上神社到着。50年以上も前の記憶とはすぐには結び付かなかったが、それでも、暫くすると、記憶が鮮明となってきた。しかし、雨も降りそうで、蝶は、モンシロチョウ、カラスアゲハを認めた位で、昔ここで出会ったアサギマダラには遂に出会えず終いだった。植物は、少し貧弱な気もしたが、オカトラノオ、カンアオイ、タイミンガサモドキ等、和気先生に教わった植物群は、今も健在であった。雨が降り始める前に、神社前の石段で集合写真を撮って、しばらくするとやはり雨に、それも本降り、大雨となった。傘を取り出し、頂上駐車場のタクシーに一目散。そして、長峰さんから



事前問い合わせしていただいていた「大川山まんのう天文台」を見学、土星の輪の成り立ちや屋上の6000mmの望遠鏡を見学した。その後、道の駅「エピアみかど」に移動、タクシーを返し、



昼食をとってから温泉(アルカリ性の良質な温泉だった)に入って、無料休憩所で帰りの路線バス時間(15:46発)まで寛いだ。琴平帰着は16:30過ぎ、その後解散した。🐸 (2017/07/16 臼杵記)